

開館時間 (火)~(金) ▶ 9時~17時 ■ 問い合わせ  
 (土)・(日) ▶ 9時~16時 多久市立図書館 ☎75-2233  
 休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

「おすすめの新着本」

「その他おすすめの本」



果物の名前の由来や成長のヒミツを分かりやすいイラストで紹介  
**食われたがる果物のヒミツ**  
 作・絵 盛口 満  
 (少年写真出版社)

果物が増えていくためには、種を鳥や動物たちに運んでもらう必要があります。そのため、みんなが寄ってくるように甘い匂いやきれいな色になり待っている必要があります。だって、植物は動けないですからね。果実の断面や葉・花などがわかりやすく丁寧に描かれた1冊です。



人生の色々な場面で役立つエッセンスが満載  
**絵でわかるかんたん論語**  
 作・根元 浩  
 絵・ナガイ トモコ  
 (金の星社)

論語かるたで慣れ親しんでいる多久の子どもたちは、多くの論語を知っていることでしょう。この本は、論語を声に出して読んでみることで人間力をアップさせようという1冊です。漢文・ふり仮名付きの読み下し文・解説文が1ページ毎に書かれています。読みやすい本になっています。



あなたの悩みの解決を後押しする処方箋  
**家族の悩みに おこたえましょう**  
 作・信田 さよ子  
 (朝日新聞出版)

明けない夜はない、止まない雨はない、と自身を励ます。しかし、悩みは尽きません。誰にも言えない悩みをどのように解決したらよいのか、カウンセリング歴40年の臨床心理士である作者の経験を凝縮させた1冊です。抱えている問題を客観視できるようなアドバイスに勇気づけられる内容です。

## 子育て支援施設 & 催しのご案内

**児童館** ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

### ◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～、  
13時30分～

- 5/11(土) 母の日のプレゼント作り
- 5/18(土) おりがみあそび
- 5/25(土) メルヘンタイム
- 6/1(土) しおり作り
- 6/8(土) 父の日のプレゼント作り

### ◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時  
 5/14(火)『ベビーアンドキッズヨガ』  
 講師：日本ベビーマッサージ協会  
 ベビーキッズヨガインストラクター  
 下村 由貴子さん

## 子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

### ◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み)  
10時～12時  
 場所 多久市児童館

### ◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み)  
9時～14時

### ◆子育て相談(電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み)  
9時～17時

**【5月の休館日】**  
 3日(金)～5日(日)は  
 祝日のため休館します。  
 6日(月)、13日(月)、  
 20日(月)、27日(月)

**【お知らせ】**  
**第55回こどもの読書週間**  
 期間 5月11日(土)まで  
 標語 「たくさん読んで  
 大きくなあれ」  
 たくさんの本と出会ってくだ  
 さい。

- | 児童向き                   | 一般向き                      |
|------------------------|---------------------------|
| ◆月と太陽つてどんな星?<br>(縣 秀彦) | ◆志士の風雪<br>(古川 薫)          |
| ◆ようこそほくのおともたち(野中 柊)    | ◆小さなよろこび 大きな幸せ<br>(横井 秀治) |
| ◆どうしよう!<br>(ローゼンタール)   | ◆母の遺産―新聞小説―<br>(水村 美苗)    |
| ◆つぎ、とまります<br>(村田 エミコ)  | ◆夏の嘘<br>(シユリンク)           |
| ◆わにわにとあかわに<br>(小風 さち)  | ◆かんたん!手づくりおもちゃ<br>(佐野 博志) |

人権教育 No. 193

## とくに生

### 「とらわれない心」

ご縁があつて、長男が今年の秋に結婚することになりました。しかし、前途多難。式の日取りから、招待客など昔ながらの風習にこだわる身内を説得するのに大変です。

「結婚式は大安にしなければならぬ」と言い張る年長組。「おばあちゃん、いまの時代そんなことは関係ないことだよ」と、いわゆる六曜を、根拠のないことと説明してもなかなか納得してくれません。迷信のこと、皆さんはどう考え、どう行動しますか?結婚式は「大安」にするべきなのでしょうか。また、お葬式を「友引」にするなんてとんでもないことでしょうか。

「そうは言っても、昔から良くない」といっている。「自分はいいけどまわりの人はどう思うだろう」と考えてしまうおばあちゃん。嫌なことが起こったらどうしようという不安感や、世間の目を気にするあまり、このような迷信を受け入れてしまっています。

人はそれぞれ、いろんな考え方を持っていますが、自分の意思に反して世間体を気にした態度をとったり、自分の考えを押し付けたりしてしまふことがあります。このことは、差別に直面した時にも「差別はいけませんが、世間がそうしているから」といった世間体を気にした態度となつて表れるかもしれません。

長男の結婚を機に、迷信や世間体にとらわれることの不合理さに気づき、物事を正しく判断できる力を身につけることの大切さを再認識しました。

社会教育指導員 野中久美子